

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/12/09

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.72	-0.23
JPY/THB	0.2538	-0.0020
USD/JPY	136.67	0.05
EUR/THB	36.61	-0.12
EUR/USD	1.0556	0.0050
USD/CNH	6.961	-0.001
SGD/THB	25.62	-0.16
AUD/THB	23.48	-0.02
USD/INR	82.43	-0.05
USD Index	104.77	-0.33

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.083	-0.011
10Y (THB)	2.598	-0.011
5Y (USD)	3.707	0.083
10Y (USD)	3.482	0.065

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,788.7	3.2
WTI (Oil)	71.46	-0.55
Copper	8,543.0	86.5

Stock

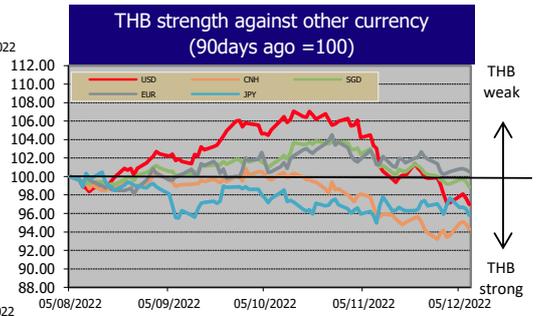
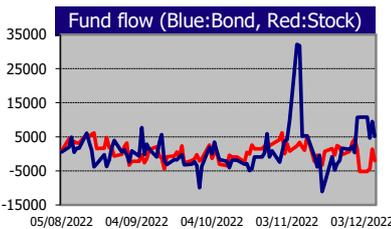
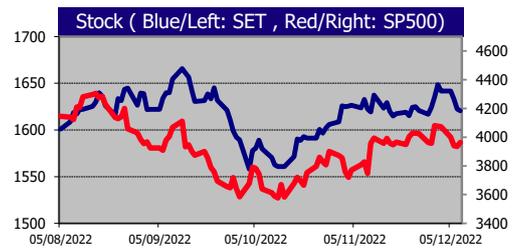
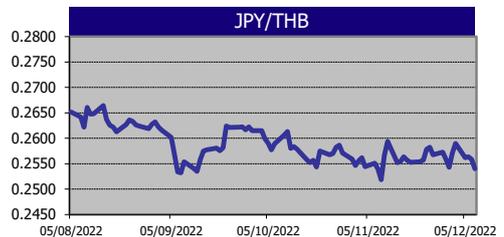
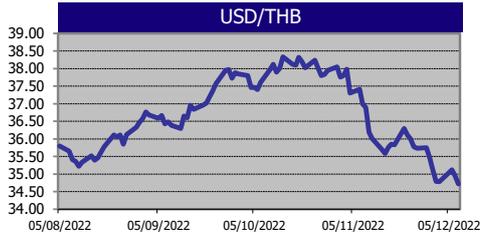
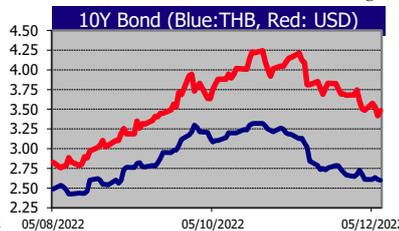
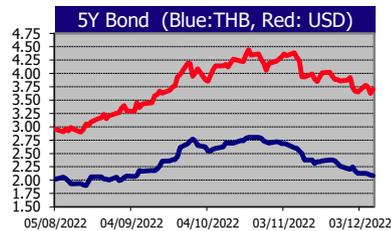
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,620.49	-1.79
NIKKEI (JP)	27,574.43	-111.97
DOW (US)	33,781.48	183.56
S&P500 (US)	3,963.51	29.59
SHCOMP (CN)	3,197.35	-2.27
DAX(GER)	14,264.56	3.37

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(2,041)	-3450.9
Bond net flow	5,120	-4338.9

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは下落した。35パーツちょうど付近でスタートしたドルパーツは、前日の海外時間の流れを引き継ぐ格好で序盤から上値重く推移。バンコク時間10時35分に発表されたタイ11月消費者信頼感指数が20カ月ぶりの高水準を記録したことや、11月の外国人観光客数が約173万人となり、目標とする年間1000万人達成の可能性がほぼ確実視され、観光業の回復が意識されたこともパーツを後押しする格好となり、海外時間に入ってもパーツは堅調に推移。結局34.72レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円はレンジ内での推移に終始する展開。136円台半ば付近でスタートしたドル円は、実需のフローをこなす中、まとまったドル買いフローもあって一時137円台前半まで上昇。ただ、その後は重要イベントを来週に控え新規材料に欠ける中、米金利動向や米国経済指標の結果を眺めながらオープンと同水準まで戻し、そのまま動意の乏しい推移となり136.67レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

今週から来週のFOMC会合(13日・14日)までブラックアウト期間でFOMCメンバーは金融政策に関して踏み込んだ発言が禁止されている。FRB高官からの発言がない分、中国の動向や経済指標がマーケットの材料になりやすい。FOMCの利上げ見通しを予測する上で、本日発表予定の米11月PPIが注目となる。前回10月PPIは、前年比での伸びが市場予想以上に鈍化し、インフレ圧力が緩和し始めている兆候が示された。また、欧米主要中銀の中で気になる動きも見られた。今週7日、カナダ中銀は50bpの利上げを決定し、6会合連続で政策金利を4.25%に引き上げた。その上で、現行の利上げサイクルを一旦停止する可能性を示唆した。声明には、「需給の均衡を取り戻し、インフレを目標水準に引き下げるために政策金利を一段と引き上げる必要があるかどうかを検討することになる」との文言が入った。これは、通常より大幅な利上げを進める段階は終了し、これまでの積極的な利上げを休止する余地がある可能性を示唆する。一部では、これを大きな政策転換と見ている。次回会合は、来年1月開催予定であり、利上げ休止を正式に発表する可能性がある。欧米主要中銀は、現行の引き締めサイクルがピークに差し掛かっており、カナダ中銀の動向には注視が必要であろう。(前川)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.